

「北九州市立病院機構第2期中期目標（案）」に対する市民意見と市の考え方

【意見の内容】

- ① 中期目標の主旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- ② 中期目標の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- ③ 中期目標の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- ④ その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 中期目標に記載済、または目標期間中に実施予定
- ② 中期目標に追加・修正する
- ③ 中期目標に追加・修正しない
- ④ その他

No	意見の概要	市の考え方	意見内容	反映結果
「第5-2-イ 施設・設備の老朽化対策」に関するもの				
1	<p>医療センターの建替え検討を始めてほしい。</p> <p>現在の医療センター敷地内にある駐車場と別棟、管理棟、および看護学校棟を取り壊し、その場所に新病棟を建てて移転すれば現地建替えが可能ではないか。</p> <p>現在の病床数は北九州市全体の人口減を見越し、少し減らしても良い。その一方で建物規模の減少は最小限に抑え、入院患者一人当たりの面積を大きくしてほしい。</p> <p>現地建替えが不可能な場合でも、例えば勝山公園の紫川の脇の区画(かつての市民プール)など、利用が少なめの区画のほか、小倉北区の比較的交通の便の良いところに建替えをしてほしい。</p>	<p>医療センターの老朽化対策については、第2期中期目標期間中において、建替えを含め広く検討を行うこととしています。</p> <p>まずは、法人全体の経営の健全化や経営基盤の安定化を図った上で、将来の人口減少等、医療需要の変化を見据え、今後担うべき医療機能や病床数、建替えの必要性等について十分検討してまいります。</p>	②	③
2	<p>医療センターについて、現地建替えの場合は水害に備えた構造としてほしい。</p> <p>移転の場合、例えば勝山公園のこども広場は、標高が10m前後で浸水想定域から外れており、病院にはうってつけの場所であると考え。</p>			
3	<p>医療センターが建替えで現在地から移転した場合、跡地利用について移転してから議論を始めるのではなく、設計段階から並行して議論を始め、旧病棟が閉鎖後、速やかに取り壊しと建替えに取り掛かれるようにしてほしい。</p> <p>跡地をコクラリビテーション事業に組み込み、例えばオフィスと高付加価値ホテルの複合ビル、といった高度利用を想定してほしい。</p>			

【意見募集期間】 令和5年9月1日から令和5年9月25日まで(25日間)